



株主のみなさまへ

第64期 報告書

平成25年7月1日～平成26年6月30日



TAKAMISAWA
株式会社 高見澤

証券コード：5283



代表取締役社長
高見澤 秀茂

株主のみなさまには平素より格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第64期報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

当期において当社グループを取り巻く経済環境は、公共工事の増加と合わせて、民間設備投資も順調な持ち直しがあり好調に推移いたしました。また、省エネ関連も需要が旺盛な環境で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、積極的な営業活動と徹底的なコスト管理により収益の拡大に努めてまいりました。

この結果、グループ全体では売上高、経常利益、当期純利益とも前年同期を上回ることができました。

今後、当社グループを取り巻く経営環境は、原材料の高騰による調達コスト上昇など不安要素が続くものと予想されますが、目標達成に向け全社一丸となって取り組んでまいり所存でございます。

また、将来にわたり持続的な成長を成し遂げて行くため、コンプライアンス経営に重点を置き、安定収益を創出できるグループ会社の経営基盤の充実を目指してまいります。

なお、期末配当金につきましては、1株につき3円とさせていただきますのでご報告申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解いただき、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年9月

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府及び日銀による積極的な金融緩和や財政政策により、国内景気は緩やかな回復基調にあります。しかし、一方では円安による輸入価格の上昇に加え、中国をはじめとする新興国の成長鈍化、欧州債務問題の再燃等で先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主に事業を展開しております建設業界におきましては、民間工事需要は、企業の設備投資が徐々に伸び、公共工事が大幅に増加し好調な状況が続きました。

このような経営環境のなかにあつて、当社グループは、積極的な営業活動と一層のコスト削減に取り組み、収益拡大に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の実績につきましては、売上高572億5千2百万円（前期比17.0%増）、営業利益9億8千2百万円（前期比31.0%増）、経常利益10億7千2百万円（前期比32.1%増）、当期純利益5億8千万円（前期比43.2%増）となりました。

事業別セグメントの業績の状況

【建設関連事業】

国内の建設関連事業では、大型補正予算の実行により公共工事が大幅に増加するなか、高付加価値資材関連の販売とオリジナル製品の販売が順調で増収となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は126億7千8百万円（前期比15.2%増）となりました。

【電設資材事業】

電設資材事業では、特に太陽光発電設備やLED照明等創エネ・省エネ関連商材の販売が引き続き好調で増収となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は294億9千4百万円（前期比20.4%増）となりました。

【カーライフ関連事業】

石油部門では、原油価格が高値で推移し、公共工事増加に伴う燃料、寒波による暖房用燃料が伸び、加えて増税前の駆け込み需要で増収となりました。オート部門では、車両販売は増税前の駆け込み需要で好調に推移し増収となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は95億6千5百万円（前期比11.9%増）となりました。

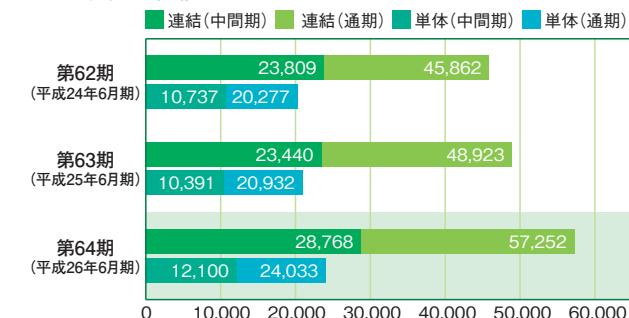
【住宅・生活関連事業】

主な事業として、不動産部門では、分譲、建売物件の売買が増加し増収となりました。農産物部門では、きのこの加工食品やきのこの培地の販売が順調に推移し、増収となりました。ミネラルウォーター販売部門では、新規工場建設により増収となりました。

この結果、住宅・生活関連事業の売上高は55億1千4百万円（前期比13.2%増）となりました。

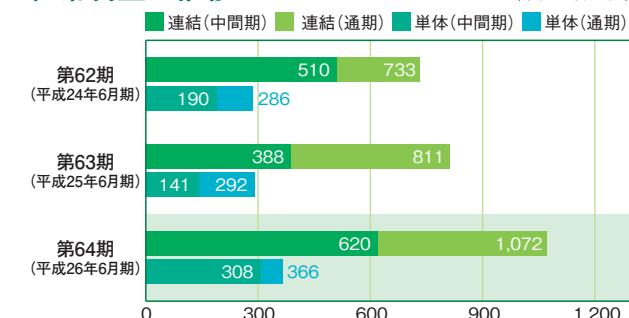
売上高の推移

(単位：百万円)



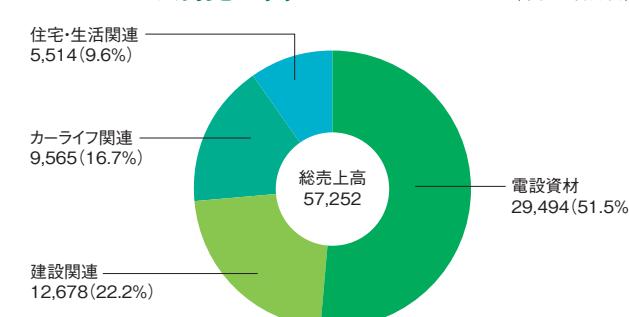
経常利益の推移

(単位：百万円)



セグメント別売上高

(単位：百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成26年6月30日)	前連結会計年度 (平成25年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,615	1,434
受取手形及び売掛金	10,060	10,675
商品及び製品	1,560	1,493
仕掛品	97	312
原材料及び貯蔵品	272	196
繰延税金資産	218	217
その他	495	596
貸倒引当金	△ 98	△ 90
流動資産合計	14,221	14,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,550	2,753
機械装置及び運搬具	1,605	1,284
土地	6,244	6,252
リース資産	267	118
建設仮勘定	690	743
その他	261	247
有形固定資産合計	11,621	11,399
無形固定資産	290	281
投資その他の資産		
投資有価証券	659	355
繰延税金資産	—	50
その他	1,742	1,720
貸倒引当金	△ 393	△ 637
投資その他の資産合計	2,009	1,489
固定資産合計	13,920	13,169
資産合計	28,142	28,005

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成26年6月30日)	前連結会計年度 (平成25年6月30日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,742	5,647
短期借入金	7,784	6,931
1年内償還予定の社債	—	50
リース債務	78	60
未払法人税等	226	120
賞与引当金	325	287
その他	1,307	1,144
流動負債合計	15,464	14,241
固定負債		
長期借入金	3,524	4,639
リース債務	206	73
繰延税金負債	29	—
再評価に係る繰延税金負債	452	452
退職給付引当金	—	1,198
退職給付に係る負債	1,296	—
役員退職慰労引当金	166	201
環境対策引当金	131	150
資産除去債務	60	60
その他	108	83
固定負債合計	5,977	6,858
負債合計	21,442	21,099
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	4,958	4,870
自己株式	△ 45	△ 45
株主資本合計	6,177	6,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	70
土地再評価差額金	50	50
為替換算調整勘定	179	174
退職給付に係る調整累計額	△ 35	—
その他の包括利益累計額合計	263	295
少数株主持分	258	521
純資産合計	6,699	6,906
負債純資産合計	28,142	28,005

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成25年7月1日から 平成26年6月30日まで)	前連結会計年度 (平成24年7月1日から 平成25年6月30日まで)
売上高	57,252	48,923
売上原価	50,010	42,426
売上総利益	7,241	6,497
販売費及び一般管理費	6,259	5,747
営業利益	982	749
営業外収益	385	357
受取利息	10	10
持分法による投資利益	53	19
為替差益	7	58
仕入割引	168	137
不動産賃貸料	57	57
その他	87	73
営業外費用	295	295
支払利息	217	224
その他	77	70
経常利益	1,072	811
特別利益	85	44
固定資産売却益	13	2
投資有価証券売却益	61	—
投資有価証券評価損戻入益	7	42
その他	3	—
特別損失	129	69
固定資産売却損	6	23
固定資産除却損	37	17
環境対策引当金繰入額	2	17
減損損失	67	11
その他	15	0
税金等調整前当期純利益	1,028	786
法人税、住民税及び事業税	368	207
法人税等調整額	49	142
少数株主損益調整前当期純利益	611	436
少数株主利益	30	31
当期純利益	580	405

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (平成25年7月1日から 平成26年6月30日まで)	前連結会計年度 (平成24年7月1日から 平成25年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,600	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,013	△ 1,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 361	437
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	235	△ 446
現金及び現金同等物の期首残高	993	1,439
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 74	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,154	993

単体財務諸表

単体貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当事業年度 (平成26年6月30日)	前事業年度 (平成25年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	657	552
受取手形及び売掛金	3,327	3,199
商品及び製品	850	832
仕掛品	40	271
原材料及び貯蔵品	195	115
繰延税金資産	108	126
その他	563	663
貸倒引当金	△ 8	△ 10
流動資産合計	5,734	5,751
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,544	1,582
機械装置及び運搬具	1,346	980
土地	4,166	4,174
リース資産	126	73
建設仮勘定	686	741
その他	217	198
有形固定資産合計	8,087	7,750
無形固定資産	174	176
投資その他の資産		
その他	2,851	2,711
貸倒引当金	△ 188	△ 331
投資その他の資産合計	2,662	2,380
固定資産合計	10,925	10,307
資産合計	16,659	16,058

(単位:百万円)

科目	当事業年度 (平成26年6月30日)	前事業年度 (平成25年6月30日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,926	2,747
短期借入金	4,530	3,484
リース債務	37	45
未払法人税等	156	70
賞与引当金	201	182
その他	688	666
流動負債合計	8,542	7,196
固定負債		
長期借入金	3,154	4,223
リース債務	104	41
繰延税金負債	94	40
再評価に係る繰延税金負債	452	452
退職給付引当金	767	738
役員退職慰労引当金	107	132
環境対策引当金	131	150
資産除去債務	46	46
その他	104	80
固定負債合計	4,963	5,906
負債合計	13,505	13,102
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	1,844	1,638
自己株式	△ 45	△ 45
株主資本合計	3,063	2,857
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	39	48
土地再評価差額金	50	50
評価・換算差額等合計	90	98
純資産合計	3,153	2,955
負債純資産合計	16,659	16,058

単体損益計算書

(単位:百万円)

科目	当事業年度 (平成25年7月1日から 平成26年6月30日まで)	前事業年度 (平成24年7月1日から 平成25年6月30日まで)
売上高	24,033	20,932
売上原価	20,857	17,885
売上総利益	3,176	3,046
販売費及び一般管理費	2,852	2,769
営業利益	323	277
営業外収益	198	184
受取利息	5	5
受取配当金	82	30
為替差益	7	55
不動産賃貸料	38	37
貸倒引当金戻入額	15	—
その他	49	55
営業外費用	155	169
支払利息	144	155
その他	11	13
経常利益	366	292
特別利益	84	41
固定資産売却益	12	2
投資有価証券売却益	61	—
投資有価証券評価損戻入益	7	39
その他	3	—
特別損失	112	36
固定資産売却損	6	2
固定資産除却損	35	16
環境対策引当金繰入額	2	17
減損損失	67	—
税引前当期純利益	338	297
法人税、住民税及び事業税	33	△ 10
法人税等調整額	73	144
当期純利益	232	163



株主優待のお知らせ

当社は株主様ご優待として、特産事業部で製造販売しております「なめ茸「志賀の郷」」をお送りさせていただきます。

「志賀の郷」は奥信濃、志賀高原のふもと標高600mの地で生まれました。えのき茸栽培に最も適した豊かな自然と風土のなか、採りたてのえのき茸に厳選された丸大豆醤油で、じっくり煮込み熟成した逸品です。新鮮なえのき茸の歯ごたえと風味をご賞味していただき、ご意見を頂戴できれば幸いです。



対象株主	贈呈内容
平成26年6月30日現在 1,000株以上ご所有の株主様	1名様につき なめ茸「志賀の郷」を贈呈

●●なめ茸グルメ●●

簡単!どんぶり!	一品!おつまみ
溶き卵になめ茸をお好きな量を入れ混ぜます。 親子丼を作る要領で、卵をかき混ぜながら半熟になるまで火にかけます。 あとは・・・ごはんのせるだけ♪お好みで三つ葉やさざみ海苔をどうぞ。	クリームチーズ(100g)を2cmの角切りし、ボールに入れる。 それになめ茸(大さじ5)を入れて、さっくりと混ぜ合わせる。 煎り節をかけてでき上がり♪ワインやビールにぴったりです!

お気付きの点またはご注文がございましたら、下記までお問合せください。

お問合せ先
株式会社 高見澤 総務部
 Tel (026)228-0111 Fax (026)227-8046

1. 「アグリトライ高山太陽光発電所」稼働

当社は、平成25年3月に上田市殿城の環境エンジニアリング事業部敷地内において、「高見澤リサイクルセンター太陽光発電所」を竣工し、太陽光発電事業をスタートいたしました。当期中において、連結子会社である株式会社アグリトライが、新たに上高井郡高山村において「アグリトライ高山太陽光発電所」を設置し、6月23日より発電を開始いたしました。

【発電所の概要】

- ①名称：「アグリトライ高山太陽光発電所」
- ②場所：長野県上高井郡高山村大字中山字森久保4924-1
- ③発電設備：京セラ製ソーラーモジュール1,582枚設置、設置面積6,580㎡、設計発電量382.844kwh、年間発電量46万kwh

もとより当該の土地は、当社の資材置場でありましたが、遊休部分が多いことから、より有効な活用手段として株式会社アグリトライによる太陽光発電事業の事業化を検討してまいりました。同社としても、これまでの事業柱である建築住宅事業及び白蟻防除事業に加え、第三のコア事業として太陽光発電事業を立ち上げることに、事業の拡充ならびに安定収益の確保が図れることから、実施に踏み切ることといたしました。

ソーラーモジュールほか設備機器は、同じく連結子会社である昭和電機産業株式会社から調達し、グループをあげてのプロジェクトとなりました。稼働後一ヶ月間の実績を集計したところ、45,600kwhと、計画を13%ほど上回る発電をしており、順調に推移しています。株式会社アグリトライとしては、建築住宅事業において、省エネ、エコ、断熱仕様の「シナノスタイル住宅」を



中心に推し進めておりますが、太陽光発電事業と併せ、これからも環境に配慮した事業展開をしていく計画です。また、翌期（第65期）においては、当発電所以外にも、当社施設の屋根上を利用して、太陽光発電事業を更に拡大していく計画もあります。

2. アップルラインゴルフセンターリニューアル



平成26年4月2日より、県内初のICカード方式による最新式精算システムを導入いたしました。

このシステムは専用ICカードをお客さま毎に発行し、入場料、利用料等料金の支払いはこの専用カードを打席毎にあるタッチ式モニター画面にかざし、画面に沿って操作するだけで完了してしまう大変便利で簡単な精算方式であります。

また、このシステム導入に合わせ、一人用として独立した椅子とテーブル、老朽化が進んでいたカーペットの張替、専用の喫煙スペース等施設環境も整えました。

更に、お客さまからの要望が多かったボールの汚れに対し、特殊洗浄機を導入し改善に取り組みました。

また新設として2階東側に、バター練習場を設置し、アプローチ練習場とともに充実した練習環境を整えました。

このバター練習場設置により、今まで要望が多かったスクールでのバター講座が組めるようになったため、アップルラインゴルフスクールも練習場のリニューアルに合わせカリキュラムの内容をより分かりやすく、ニーズに合わせたものに変更し、好評を得ております。

ここ最近、ゴルフは平成28年のリオデジャネイロオリンピックより競技復帰することが決まったり、国内では、男子では石川遼、

松山英樹、女子では宮里藍、森田理香子はもちろんアマチュアの勝みなみ等若手の台頭により再度注目されております。

そのようななか、アップルラインゴルフセンターは練習場として技術アップに貢献するだけでなく、ゴルフの楽しさを伝え、健康維持・管理のお手伝いをさせていただき、気軽に地域のみなさまにご利用いただけるような練習場を目指していきたいと思っております。

隣接する中古ゴルフ用品販売のゴルフパートナーアップルライン店共々、今後ともご愛顧の程よろしくお願いたします。

3. 受注・出荷ともに堅調に推移したコンクリート事業部

当社コンクリート事業部は、第64期の期初から受注が堅調に推移し、納期的に供給が間に合わない懸念が発生しました。

工場においては、型枠の増型等で生産量の拡大を図り対応しました。また新たな試みとして主にアームロックの製品を同業他社3社と製造委託契約を締結し、供給責任を果たしました。

また、出荷状況は長野県内の特に東信エリアへの出荷量が前年に比べて顕著に伸びました。

要因としては、佐久地域の農業用水路、上田市の雨水排水路でボックスカルバートの納入が売上を牽引しました。

事業部概要

◆コンクリート二次製品の製造販売

本部	技術設計開発
	構造計算・図面作成・新製品開発
営業所	6営業所 県内5営業所(北信・東信・中信・南信・茅野) 県外 関東営業所
工場	3工場 小布施 豊田 伊那
主要製品目	L型擁壁 側溝 ボックスカルバート

第64期の主な製品出荷状況

◆オープンシールド工法によるボックスカルバート納入

第64期に工法の契約を締結し、岡谷市内物件の設計、受注、製造販売の実績を作る事ができました。



オープンシールド工法



オープンシールド工法とは、上部開放型のシールド機で土留めをしながら、シールド機掘進、函体据え付け埋戻しまでの作業を連続して行い、ボックスカルバートを急速に地中に埋設する工法です。

近年多発しているゲリラ豪雨の災害対策として、既設の河川、水路を改修する目的に使用され、工事による近隣住民への迷惑を少なくするメリットがあります。

◆農業用水路の出荷が順調

一体型側溝のハイピー水路、ベンチフリーウムが例年になく多く出荷になりました。

◆道路用L型擁壁

主に道路拡幅として使われるL型擁壁（ハイパーロードL型擁壁）がフェンス取り付け可能タイプも含め売上に大きく貢献しました。L型擁壁は、直壁になっており、高さ0.5～5mまで製品を揃えており工期の短縮等で多くの工事箇所でご採用いただいております。

◆大型ブロック（アームロック）土留め擁壁

災害復旧や道路拡幅の現場に納入しました。従来の大型ブロックを1/3に軽量化し、施工時の大型重機を必要としない経済的、効率的に擁壁を構築できます。ブロック控長750～2,500mmまで対応可能になっております。

新製品の紹介

◆L型擁壁 ザウォール大地震対応型

国土交通大臣認定製品で大地震に対応できる直壁のL型擁壁です。

長野県内での契約を締結し、製造販売を開始いたします。

◆防草ブロック

道路縁石の隙間から草が生えない構造の歩車道境界ブロックです。

ドライキャスト製法での当社研究開発により製品化が可能になり、製造販売を開始いたします。

◆生産工場の状況工場

小布施工場の生コンプラントの更新をしました。

更新により、今までより品質が向上し、生産性面でも良い結果が出てきております。

今後更なる品質の良い製品の供給を目指したいと考えております。



防草ブロック歩道エプロン



プラント操作室

会社概要

商号 株式会社高見澤
 設立 昭和26年3月29日
 資本金 1,264,300,000円
 従業員数 331名
 事業部、営業所等 37拠点

ホームページのご案内

<http://www.kk-takamisawa.co.jp/>

当社グループのさまざまな情報は
 こちらでもご覧いただけます。



役員 (平成26年9月25日現在)

代表取締役社長 高見澤 秀 茂	常務取締役 原 山 稔 明	常勤監査役 小 林 栄八州
専務取締役 赤 沼 好 宏	常務取締役 高見澤 尊 昭	社外監査役 武 田 俊 男
専務取締役 高見澤 雅 人	常務取締役 米 山 剛	社外監査役 錦 澤 裕
常務取締役 佐 藤 倫 正	取締役 小 林 茂 勝	
常務取締役 大 井 文 成	取締役 宮 澤 信 夫	

グループ会社

連結子会社

社名	資本金
昭和電機産業株式会社	750百万円
直江津臨港生コン株式会社	50百万円
オギワラ精機株式会社	10百万円
株式会社アグリトライ	44百万円
信州電機産業株式会社	40百万円
淄博高見澤混凝土有限公司	3,200万元
烟台市長野建材有限公司	170百万円

関連会社

社名	資本金
山東建澤混凝土有限公司	3,000万元

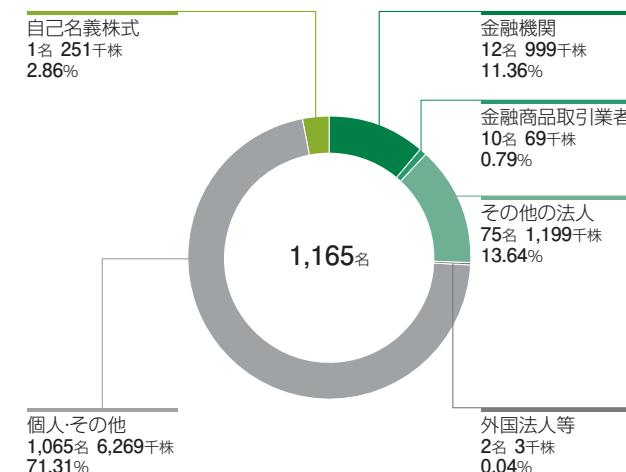
株式の状況

発行可能株式総数…………… 18,915,000株
 発行済株式の総数…………… 8,792,000株
 1単元の株式数…………… 1,000株
 株主数…………… 1,165名(前期末比101名減)
大株主(上位10名)

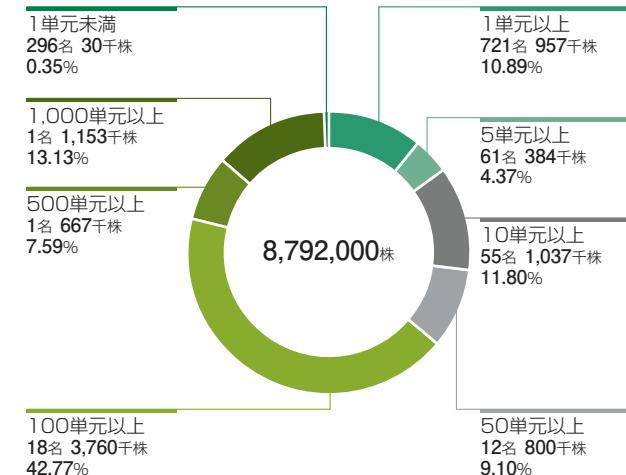
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高見澤秀茂	1,153	13.51
高見澤昭二	667	7.82
株式会社八十二銀行	423	4.95
高見澤豊子	419	4.91
高見澤愛子	385	4.52
高見澤雅人	308	3.61
高見澤吉晴	240	2.82
増田多加子	208	2.44
増田元成	206	2.41
高見澤達郎	193	2.26

(注) 1. 当社は自己株式251,280株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。
 2. 持株比率は自己株式(251,280株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
基準日	毎年6月30日 そのほか必要ある場合には、あらかじめ公告いたします。
定時株主総会	9月中
期末配当金受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先・送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載し公告します。 公告掲載の当社のホームページアドレス http://www.kk-takamisawa.co.jp/koukoku/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。